

1 評価の時期・場所

令和7年3月5日（水） 本校小会議室

2 評価者

学校評議員4名（当日欠席の評議員による評価を含む）

3 評価の内容

- 出席状況や異動状況等からみても、清峰高校の日々の取組の成果ではないかと感じています。最近の子供たちを取り巻く環境、SNSにいじめ、不登校、先生方は本当に大変だと思っております。私たち保護者がまずしっかり子供と向き合い、自分のことだけでなく、周りのことも考えて行動することが大切だと思っております。今後も魅力ある学校づくりに取り組んでいただけたらと思います。
- 学校評価で生徒、保護者回答において、わかりやすい授業、学力の向上で保護者回答はちょっと厳しく不満を感じているのかと思う。逆に生徒会等はある程度の評価を得ている。このことは、先生方は大変ですが、保護者、生徒と更なるコミュニケーションを図り、学校運営に繋げていただき、改善されるようお願いします。
- R7年度入学者選抜において、地域の人口減少、入試制度の変更、生徒の多様性なのか、学校として広報活動をされたが、残念ながら一般選抜で定数に届かなかった。この要因は限定できないが、他の県北の公立もほぼ同じ状況です。私立に流れたのかなんとも言えません。しかし、体育祭での3年生のリーダーシップが発揮され、卒業式では、毅然とした雰囲気で行われ、生徒の眼がすばらしかった。また、部活動でみんな頑張ってる中で、ひいき目ではなく、夏の野球部の活躍は、わくわくザワザワの気持ちと感動を与えてくれた。生徒みんなの活躍が清峰を盛り上げ、勉学向上や入学者増に通じると信じます。
- 吾ら誠実の清峰生、先生方は進路実現のサポート、生徒は自己目標に向かい、高校生活を全うする。保護者はそれを支援されるようお願いしたい。生徒は日頃あいさつを笑顔で接してくれ、元気よく活動していると思う。
- 清峰高校の発展と教育の充実を願っています。
- 生徒の充実した学校生活、進路目標の実現、地域への貢献など、清峰高校の教育活動全体において、素晴らしい取り組みをされており、校長先生をはじめ教職員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。
- 様々な面において変化も激しく、複雑化する現代において、学校教育の在り方、具体的な運営の方法等、難しい面も多いかと思いますが、教職員及び生徒の皆さんが丸となって清峰高校の更なる充実、発展のためにご尽力いただきますようお願いいたします。
- 評議員会でも申し上げましたが、公、私立高校とも事実上無償化が進む現状において、その高校において何を学べるのか、何を得られるのか、何を楽しめるのかなど、学校の特色をいかに出していくかが重要になっていくと感じます。先生方もいろいろとご苦勞も多いかと思いますが、いろんなアイデアを出していただき、明るく楽しく学び多い学校づくりに努めていただければ幸いです。